

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33506	環境デザイン Environmental Design	武田 美恵	専門	1	選択	1・2年 後期

科目の概要

環境を丹念に観察することにより着想を得、造形を行う。環境の様々な資源、特質の活用にあ資する造形行為の重要性について理解を深める。
気候、植生、地形、地質、文化など土地固有性について観察、調査、検討を行った後、まとめ、プレゼンテーションや討論を实践し、自己の価値観を構築しながら、環境に適したデザインを提案できる力を身につける。

学修内容	到達目標
① 環境について理解する ② 環境を調査する ③ デザイン力を養う ④ 環境を調査したことを分かりやすく伝える	① 環境に対する理解を深める ② 環境に対する観察力を養う ③ デザインを通して説得することができる ④ コミュニケーション力が向上する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分の考えを述べる。授業以外の時間を使い、自分で課題について調べてきたことを記述できる。課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修をすることができる
	働きかけ力	議論において積極的に発言する。
	実行力	議論を形にする
考え抜く力	課題発見力	現状や現況の調査分析を行う
	計画力	調査分析に基づき計画する
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる
チームで働く力	発信力	積極的に発言し、プレゼンテーションで人に伝える
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
	状況把握力	現状について入念に調査することにより現状を把握する
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	ストレスを抑制するための方法を検討する

テキスト及び参考文献

テキスト:なし
参考文献:なし
必要に応じてプリントを配布する

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:造形系実技科目との関連が期待できる
資格との関連:特になし

学修上の助言	受講生とのルール
スケッチブックを持ち歩き、観察したものはスケッチすること を心がけると良い。地球環境、生態学関連の新聞記事、雑誌に目を通しておくとも良い。	未提出物、欠席回数が多い場合は、不合格になります。 授業参加姿勢が悪い場合も不合格の対象になります。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓
		②	✓
		③	
		④	
		⑤	
作品	40	①	
		②	
		③	✓
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	
		②	
		③	
		④	✓
		⑤	
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
作品の質, プロセスの充実度	授業参加度合い 作品の提出度

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 環境について理解する	講義 環境とデザインについて講義する。質問に対してフィードバックする。	環境デザインに関する講義の内容について理解し、ポイントが整理されていること。	(復習) ノートをまとめ直す	45	規律性
2週 /	環境について理解する	講義 環境とデザインについて講義する。質問に対してフィードバックする。	環境デザインに関する講義の内容について理解し、ポイントが整理されていること。	(復習) ノートをまとめ直す	45	規律性
3週 /	基礎トレーニング1	演習 グループを編成し学内の環境を調査する。調査内容に対してフィードバックする。	予習してきた具体的事例について、ポイントが整理され、グループメンバーにわかりやすく説明することができる。	(予習) 環境とデザインの関わりについて具体的事例を調べる	45	課題発見力
4週 /	基礎トレーニング2	演習 基礎トレーニング1において得た知見をグループでまとめる。まとめた内容に対してフィードバックする。	グループ議論に参加する	(予習) 環境とデザインの関わりについて具体的事例を調べる	45	主体性 発信力
5週 /	基礎トレーニング3	演習 グループごとに、予習内容と関連付けて成果をまとめる。まとめた内容に対してフィードバックする。	制作に参加する	(予習) 環境とデザインの関わりについて具体的事例を調べる	45	主体性 発信力
6週 /	基礎トレーニング4	演習 グループごとにまとめた成果の発表を行う。成果物に対して評価を行う。	発表に参加する	(予習) 環境とデザインの関わりについて具体的事例を調べる	45	規律性
7週 /	本制作1(準備)	演習 課題を出題し、グループを編成する。取り組むテーマについてグループで議論する。質問に対してフィードバックする。	グループでの議論に参加する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	計画力 発信力 傾聴力
8週 /	本制作2(調査)	演習 基礎トレーニング1を参考に、調査場所(設計計画地)、調査内容を決定する。調査地に対してフィードバックする。	調査に参加する	(復習) 調査内容の不足を確認し合い、再調査を行う	45	情報把握力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	本制作3(立案)	演習 簡単な演習課題を行いながら指導する。 設計計画地に設置する物のデザインを立案する。	グループでの議論に参加する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
10週 /	本制作4(制作)	演習 グループで作品の制作に取り掛かる。取り組み方について指導する。	制作に参加する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	実行力
11週 /	本制作5(制作)	演習 グループで作品の完成度を上げる。取り組み方について指導する。	制作に参加する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	実行力
12週 /	本制作6(資料作成)	演習 グループでプレゼンテーション資料を作成する。取り組み方について指導する。	資料の作成に参加する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	実行力
13週 /	成果発表 1	演習 発表と講評(評価)を行う。作品を提出する。	作品発表に加わる	(予習) 発表練習をする (復習) 振り返りのためのまとめをする	45	規律性
14週 /	成果発表 2	演習 発表と講評(評価)を行う。作品を提出する。	作品発表に加わる	(復習) 振り返りのためのまとめをする	45	規律性
15週 /	振り返り	講義 講義の振り返りを全員で行う	振り返りに参加し、意見、感想を発言する	(予習) 振り返りのための考えをまとめておく	45	規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力